

さくらタイムス 令和6年1月号

新年おめでとうございます。今年も30年前からの始まりです。当時の新年は、ワシントンにあるリンカーン記念堂で大きな像の足元に早朝座り込み初日を待っていました。壁に刻まれた「人民の人民による人民のための… (of the people, by the people, for the people)」という有名なフレーズを横目で見つつ、大理石の冷たさをホッカイロで防いで「民主主義の自由な国」を満喫しながら、東の地平線に昇るサンキストオレンジのような初日を拝み、年頭の決意をしていました。この頃は将来のことなど考えもしなかったのですが、その後恩師から「過去を振り返るときは、同じだけの未来を考えなさい」と教えられ、素直に従っています。さて、ではこの先30年というと90歳を超えていることとなります。「生きていられるかな」では情けないので、30年前との繋がりを探すと……ありました。それは当時愛用していたフリース素材のウエアで、とてもとても暖かくかつ丈夫でほつれや色褪せもなく20年間は毎年着用し、その後は横に成長しサイズアウトで引き出しにありますが、まだまだ10年は着られそうです。そしてなんと、同じメーカーのウエアを着ている園児さんがさくらに数名いるではありませんか。「私なんてセールでしか買えなかったのにいいないな」と羨望すると同時に「このウエアもあと同じくらいは余裕で着られるはず」と、今は乳幼児さんが30年後の我が子に着せて一緒に歩いている姿が想像できます。そうした嬉しい30年後があるとすれば、まだまだ大丈夫だぞと新たにがんばる決意をしつつ、新年のご挨拶をさせていただきます。れんげさんはご卒園まで3か月楽しくすごしましょうね。たんぽぽさんは春から「最上級生」としてさらに成長していただきます。すみれさんは「人生始まったばかり」でたくさん遊んで大きくなりましょうね。

本年も職員と共に一生懸命「さくらの保育」をますます充実・発展させてゆきます。皆様とご一緒に進めさせていただきたいです。どうぞよろしくお願い申し上げます。 園長 山内 香幸